

# 新しい糖尿病治療の目標

県医師会編

## 命ぐすい 耳ぐすい

〈899〉

厚生労働省の「2011年国民健康・栄養調査報告」で日本国民の4人に1人以上が糖尿病またはその予備軍であることがわかりました。糖尿病には、体質(遺伝)や過食

### 仲地 健

#### 翔南病院



HbA1c (NGSP)  
↓  
7.0% 未満

・運動不足など生活習慣の乱れ(環境)によって起りやすい2型糖尿病と、主に自己免疫によって起こる1型糖尿病があります。いずれも血糖値は慢性的に高くなり、治療

## 患者減へ国際標準化

が不十分な場合、眼・腎臓・神経などの細い血管がやられる合併症(細小血管障害)や心臓・脳・下肢などの太い血管がやられる合併症(大血管障害)が起こり、命を落とすこともある病気です。血糖値が2カ月間平均的にどれくらい高い状態であったかを知る血液検査がHbA1c(ヘモグロビン・エワンシー)です。糖尿病の治療経過をみるためだけでなく、人間ドックや健診で「糖尿病が強く疑われる人」や「糖尿病を否定できない人」を見つ

けるためにも測定されてきました。実はこれまで日本と米国などの諸外国のHbA1cは測定方法が異なっていました。今年5月、熊本で開催された第56回日本糖尿病学会で発

表された「熊本宣言2013」の中で、糖尿病患者さんが合併症を予防し、できるだけ健康で幸福な寿命を全うするための血糖コントロールの目標を「HbA1c(NGSP)を7.0%未満」とし、学会として糖尿病合併症で悩む人々を減らすための努力を惜しまない事を宣言しました。個々の患者さんの治療目標は、年齢、罹病期間、合併症の程度、低血糖を起す危険性などを糖尿病専門医または担当主治医が総合的に判断して設定しますが、今回ひとつのわかりやすい目標が示されたこととなります。糖尿病治療に関する研究は進んでおり、有用な薬も次々登場して

います。糖尿病が疑われた方はぜひ医療機関にご相談を。日本糖尿病学会ホームページも参照を。URLはhttp://www.jds.or.jp/